

日本共産党
宇都宮市
議員団

あなたの声を市政に

ほっとらいん

6月議会報告
第69号

発行
日本共産党宇都宮市議員団
宇都宮市旭1丁目1-5
電話 632-2622
FAX 632-7753



一般質問に立つ福田くみ子議員

非正規の公務員にも 働き甲斐の保障を! (質問要旨)

— 公務員は全体の奉仕者 —

宇都宮市議会6月定例議会では、日本共産党からは、福田くみ子議員が一般質問に立ちました。一部をご紹介します。

(表1) 正規職員と臨時職員・非常勤嘱託員の実任人数比較

	H21(2009)	H30(2018)
正規(再任フルタイム含)	3,634人	3,274人
臨時	269人	181人
非常勤嘱託	594人	660人
非正規	1,068人	1,849人
小計(非正規割合)	1,931人 (34.7%)	2,030人 (38.3%)
合計	5,565人	5,304人

(福田調査による)

福田議員は、行政改革の名のもとに進められる行き過ぎた公務員の非正規への置き換えの実態を示し(表1)「会計年度

注「会計年度任用職員制度」とは?
2017年5月に地方公務員法・地方自治法の一部改正により、臨時・非常勤職員の処遇について「任用の整理・厳格化」と「同一労働・同一賃金の考え方に基づく処遇改善」を主旨とした「会計年度任用職員制度」が新設され、2020年4月からの実施に向けた準備がすすめられている。

掲載できなかった項目

- * 東海第2原発再稼働をめぐる本市の対応
- * 市の外郭団体での雇い止めについて
- * 検診機関の質の担保について
- * 女性が輝ける地域社会について
- * セクハラ・パワハラ問題について

非正規職員に
朗報!
期末手当を
検討!

任用職員制度(注1参照)への改変の準備状況や処遇について質しました。

福田議員は、総務省の「会計年度任用職員制度」準備のための事務マニュアルに、6か月以上の任用について期末手当の支給が求められていることを示し、現状と今後の対応について問いました。これに対し、酒井行政経営部長は、「現在は支給していない。今後は、マニュアルに沿って検討していく。」と答えました。

臨時・非常勤職員にも 無期転換ルールを

福田くみ子議員は、表1のとおり非正規の割合が未だに増加していることを示し、民間では2013年に労働契約法が改正され、有期雇用労働者の「無期転換ルール」の適用がはじまっているが、地方公務員には適用されないという指摘。そこで、市においても同じ部署や職場で5年以上働く臨時・非常勤職員にも何らかの無期転換ルールが必要と考えたと述べ、市長の見解を質しました。

これに対し、酒井行政経営部長は、「総務省のマニュアルには、中略「再度任用されることはありうる」としながらも、様々な課題を指摘し研究し検討していくと述べました。保育士46%が非常勤は異常!!」

「差額ベッド以外空いていない」との理由では料金求められない!市民にしっかり周知を!

差額ベッド料とは「特別療養環境室」に入院した際に徴収される保険のきかない部屋代のこと。厚労省は今年3月、次のような3ケースについて差額ベッド料を求めはならないと関係機関に通知。
①同意書を取っていない場合
②治療上の必要によって入院をさせる場合
③病棟管理の必要性など実質的に患者の選択によらない場合の3点。
石岡保健福祉部長は市のホームページで周知すると述べました。

適応指導教室にも 温かい給食を!

不登校の子どもたちの通う適応指導教室は、今年度、約80名の児童・生徒が利用しています。(とら)いあん館に約20名、ましかどの学校には約60名。今回の質問では、「学校給食は、教育の環として位置付けられ、当然適応支援教室に通う児童生徒にも提供すべきではないか」と質しました。教育長は、人数が把握できない点や、衛生的な配送や保管などの課題があることを理由に今後調査・研究していくと述べるにとどまりました。しかし、友達や先生と一緒に同じものを食べる経験は、不登校の子どもたちにとって何よりも成長の一助となるものと考え、今後も実現を求めていきたいと思っています。

宇都宮にふさわしい 公共交通とは何か?

LRRT反対地権者への対応を問う

自動運転も目前の時代に、軌道の上しか走れないLRRTを次世代型とはナンセンス。LRRTは時代遅れの形を変えた箱モノ行政。と批判したうえで、①コンパクトシティのまちづくりには欠かすことのできない根拠は?②富士市ライトレールとの主な相違点と本市のLRRTに何を生かそうとしているかなどについて質しました。

強硬な反対を表明されている地権者の方に、どのような対応を取っていくのかを質しました。これに対し、飯塚建設部長は、「地権者の方々の個々の立場に立った丁寧な説明に努め、御理解ご協力いただけるよう努める」と答弁。さらに、福田議員は再質問で「法律上は、強制執行や、土地収用も可能だがそのような乱





討論に立つ荒川議員

LRT 陳情

市民の願い大切に力を合わせる 日本共産党 不採択に反対

議会最終日、荒川つねお議員は「LRT施設工事の中止を求める」陳情等(66号・68号)について「採択すべき」との立場から討論を行いました。(要旨)

LRT密室起工式に市民はサイレントアピール

市民が抗議のサイレントアピールを行う中、LRT起工式が大テントを紅白幕で覆った密室状態の中で行われた。日本共産党宇都宮市議員団は、「いよいよ工事が始まったから陳情不採択は当然とかやむなし」との議会の大勢には、絶対に組みたくない。

LRT建設事業興しは一体だれのためのものか

私は、市長の強引なLRT建設強行について、本年3月の代表質問で「あまりにも無理筋が多過ぎる」と特に4点について指摘した。(ほつとら いん68号参照)

ここで引き算だが「本市のLRT計画」引く所の「市民合意なき計画」その答は「大

企業・ゼネコン・開発業者奉仕のための公共事業」となる。まさに、「LRT建設に反対する圧倒的市民」対「LRT建設を進める側」の極めて明瞭な構図が、天下に露わになっている。

ネットワーク型コンパクトシティとLRTは、本当に関係あるのか？

市長は「LRTはネットワーク型コンパクトシティ(NCC)を支える総合的な公共交通の要として不可欠な装置」とくり返し強調している。

しかし「LRT先にあるべき」を宿命としている本市の計画は、県都のまちづくりとの整合性を欠き、NCCとLRTとは本当に関係があるのか？ 圧倒的市民にその答はまだ届いていない。むしろNCCがLRT先にあるべきを媒体に、新たな開発を呼びこみ、コンパクトとは逆に、新たなスプロール化のまちづくりを促進しているのではないのか。

LRT熱烈歓迎は一部団体・業者だけ

市長は「市民理解を促進するため」として、税金をふんだんに使い、あらゆる手段を使ってLRTPRに必死になっている。しかし、市民の中に熱烈歓迎の声はない。大歓迎の声を上げているのは、永続して公共事業を確保するため、真岡や鹿沼までも延伸を叫ぶ団体や事業者の一部が主である。

党市議員団は「市民こそ主人公」で進む

市長(議会も)は、これまでの指摘に異議あれば憲政の常道に則り、市民投票で「LRT賛成過半数」の客観的担保を内外に明らかにすべきだ。日本共産党は、市民こそ主

人公を買き、第68号陳情者の側に立ち、市民の声と今後とも真摯に向き合う道を進む。

バスを中心とした公共交通網の確立に賛成

陳情66号について、バスを中心とした公共交通ネットワークの構築について「BRT」も付け加えるべきと考えるが大筋賛成である。今や、東京駅から電気バスが走り、無人バスの時代も見えてくる。近未来に、軌道上しか走れない、軌道のある所しか行けない、LRTは次世代型どころか、むしろ時代遅れではないのか。

「公共交通への市民の願いは、バス運賃の引き下げ」市民の願いは、LRTにかける巨額の税金の一部を回し、高いバス運賃を引き下げ、利用しやすくすることである。バスを主体として、市民生活の中をきめ細かに走り、誰もが、行きたい時に行きたい所に行ける公共交通網の確立を提案する陳情者に賛成である。

東海第2原発再稼働やめよ!

福田くみ子議員〈一般質問&陳情で主張〉

宇都宮市中心部から約65kmに位置する東海第二原子力発電所が、今年11月、稼働から40年を迎え、昨年同原発を運営する日本原電が20年間の延長を申請しました。同原発は全国一古いうえ、先の東日本大震災でも、間髪を容れず福島第一原発と同様の事態を免れたところですが、6月議会では、一般質問で福田くみ子議員がとりあげ、「原発いらない栃木の会」からは、同様の趣旨の陳情が提出されてきました。

「一般質問では」市民のいのちと暮らしを守る立場が問われている! 「実効性の確保に多くの課題を残す水戸市との広域避難計画に協力する事より、住民のいのちと暮らしを守る立場から、東海第2原発の再稼働中止の意見を表明することのほうが、最も合理的で現実的な対応と考える」と、市長の見解を質しました。

市長は、「エネルギー政策は国の問題」と自らの意見表明を避け続けました。

「陳情審査では」陳情者の思いを生かす 継続へ! この陳情は、福田くみ子議員が所属する総務常任委員会が審査が行われました。

陳情者による意見陳述後、傍聴者が見守る中で、自民党議員会の熊本委員は、「陳情内容は、まったくそのとおり」としながらも、「再稼働の許可要件に新たに加えられた周辺自治体の意思が表明されていない現時点での、本市が

ら意見書を送るといのははいいかがか」との理由で「不採択」を主張。福田くみ子委員は、「採択すべき」との立場でしたが、「茨城県内でも」とより、栃木県内でも益子町や茂木町など多くの自治体が再稼働に反対を表明している。宇都宮の東の端は、わずか55キロ圏内。再稼働に同様の懸念を持つなら、今回不採択とせず、原発周辺自治体の動向を見てからでも遅くない。継続としてはどうか」と提案。結果は一転して、全会一致で「継続」となりました。

市民の皆さんへ

日本共産党宇都宮市議員団では、市民の皆さんの声を市政に届けるため、最大限の努力をしております。市民の皆さんと市議員団をつなぐ「ほつとら いん」としてお届け致しますので、ご一読いただければ幸いです。皆さんのご意見、ご要望等とじしお寄せ下さい。

スポットライト

庶民の社交場 銭湯の灯を消さないで!

いま、市内に銭湯(公衆浴場)はわずか1軒となってしまいました。近くの銭湯が廃業し、2km以上を自転車で銭湯に通う市民から「銭湯の灯を消さないで」との訴えが。その人は、「家に風呂はあるが、富士の壁絵を背に思いきり体を伸ばす事ができ、独特の社交の場である銭湯は一日の中で最も心良い瞬間です」と語っています。市内各地にできているスーパー銭湯とは、全く趣が違ふとのことです。

厚生常任委員会で、荒川つねお議員は、高齢化や後継者不足、施設老朽化、新規投資が見込めないなど営業継続が困難に直面している銭湯に対する支援を訴えました。

東京では、「公の出番」と自治体がお金を出して設置し、管理・運営は民間に任せる公設・民営方式の銭湯が広がっていると指摘。

日本伝統の地域の大切な場を守るために宇都宮市も一肌脱いでもらいたいものです。



市内唯一の宝湯(若草1丁目)

定例無料 市政・法律なんでも相談会

- 8月 お休みします。
 - 9月8日(土) 市総合コミセン第1創作室
 - 10月13日(土) 市総合コミセン会議室
- ※時間は午後2時~4時 ※弁護士が協力します。プライバシー厳守
※相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡下さい。

市政、くらし、福祉、労働・雇用、教育、生活環境、介護、子育て、すまいの問題、多重債務、市民生活について、その他なんでも

★お急ぎの方はいつでもご連絡下さい。
日本共産党宇都宮市議員団
電話 632-2622 FAX 632-7753
電話 634-8722 (休日夜間など)